



1年が経つのが早く感じるのもので、もう、12月です。皆さんにとってこの一年はどんな年でしたか？私の今年一番の出来事は、3月初旬に突然車のエンジンが壊れ、車を買換えた事です。

このニュースレターは、電子入札用ICカード購入して頂いたお客様、当社とお取引のあるお客様、私と名刺交換して頂いた方へお送りしています。

IT関連の情報やニュース、気になる製品等をお伝えいたします。お気軽にお読みください。

## 2014年4月9日 Windows XP サポート終了！

食品と同じようにWindowsにも賞味期限があります。Windows XPは2014年4月でサポートが終了します。Windows XPのパソコンを使われている企業は早めの移行をお勧めします。

2014年4月以降もWindows XPのパソコンを使う事は可能ですが、ウイルス感染やデータ流出などの危険性が高まります。会計ソフト等のソフトメーカーもサポート対象OSから外し、トラブル時の電話対応にも応じてくれなくなります。

製品名	有効期限
Windows Vista Home Basic	2012/4/10
Windows Vista Home Premium	2012/4/10
Windows Vista Ultimate	2012/4/10
Windows XP Home Edition	2014/4/09
Windows XP Professional	2014/4/09
Windows XP Media Center Edition	2014/4/09
Windows 7 Starter	2015/1/13
Windows 7 Home Premium	2015/1/13
Windows 7 Ultimate	2015/1/13
Windows Vista Business	2017/4/11
Windows Vista Enterprise	2017/4/11
Windows 7 Professional	2020/1/14
Windows 7 Enterprise	2020/1/14
Windows 8 (全Edition)	2023/1/10

Office2003も同時にMicrosoftのサポートが終了します。  
(Excel2003、Word2003、Outlook2003、Powerpoint2003、Access2003)

Windowsのエディションを確認するには、  
下記URLを参照願います。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/howtocheckvesion.aspx>



プロがパソコン  
選びをお手伝い！



### 【サポート終了後も使い続けることのリスク】

- ★サポート終了に伴い、セキュリティ関係の修正パッチの配信が無くなる
- ★サポート終了後に発覚するであろう未知の脆弱性に対応できなくなる
- ★未知の脆弱性を狙ったマルウェア（ウイルス）に対抗できなくなる
- ★対応した周辺機器やソフトウェアが減少・若しくは無くなる
- ★セキュリティソフトのサポートが無くなる

### 【業務用（法人向け） & 電子入札用のWindows XP パソコンは？】

量販店で販売されているパソコンはWindows 8です。（業務用としては操作性の問題で敬遠されています）  
大手企業や役所 等でWindows 8を採用している所はありません。

Windows XPパソコンの買い替えには**Windows 7 Professional**パソコンをお奨めします。（個人使用含む）

### Windows 7 パソコンを使うメリット！

#### 【業務用（法人向け）パソコン】

コンピュータ業界では、Windows XP → Windows 7 → Windows 9（2014年11月販売予定？）の移行が一般的です。

#### 【電子入札用パソコン】

複数の役所に確認した所、2014年4月以降もWindows XPのパソコンを使う事は可能ですが、早めに新しいパソコンに替えるよう勧めるとの事でした。トラブル時の電話対応も内容によってはWindows XPの場合サポートしない場合もあるとの回答でした。

電子入札コアシステムはWindows 8（H25年12月1日現在）に対応していません。

当社では**Windows 7**パソコンの販売を行っています。メールか電話にて、お気軽にお問合せください。

TEL : 092-575-0165 Email : info@cf-jpn.com

～ WSJ “今年の10大ニュース” ～

今年の10大ニュースが話題になる季節になりました。

ウォール・ストリート・ジャーナル日本版(以下、WSJ 日本版)はこのほど、「WSJ 日本版が選ぶ2013年10大ニュース」を発表しました。同10大ニュースは、WSJ 日本版読者の反響、記事本数が多かったトピックス、および米国・アジア版記者が取材したテーマの中から、WSJ 編集部がランキング形式で選定したものです。

順位	ニュース
1	米政府一部閉鎖と債務不履行の危機
2	国内外から注目を集める「アベノミクス」
3	金融緩和から出口探る米FRB
4	米国 NSA 盗聴問題
5	シリア内戦
6	中国 薄熙来(はくきらい)失脚
7	相次ぐ IT 企業の大型再編
8	福島第1原発の汚染水問題
9	ボーイング機事故
10	世界各地の異常気象

2014年注目の経済トピックスとして、日本の「消費税引き上げ」、「エネルギー革命」、「欧州危機は終わったか」の3点を挙げている。このうち、消費税引き上げについては、2014年4月の増税で消費者負担が8兆円拡大し、一時的に消費を圧迫するとの見方が強まっているとし、増税の負担を乗り越えて日本経済を成長軌道に乗せられるかに、来年は注目が集まるとしている。

～ お年玉付き年賀状、賞品が現金に！ ～

そろそろ年の瀬。寒さも深まり、押し迫ってきた気分になりつつある。そんな時期に気になってくるのが年賀状だ。最近耳にした情報で、来年届けられるお年玉付き年賀状は、なんと現金が当たるという。

——賞品を現金にした理由はどうして？

「理由は、大きくわけて2つあります。ひとつは、お客様に何が当たったら嬉しいかアンケートを取ったところ、“現金が嬉しい”という声が多かったこと。もうひとつは、話題性です。今回、賞品を1万円にすると同時に当選確率を10倍に上げました。これにより、当選する人が増えて話題になることで、年賀はがきの人気盛り上がり期待しています」



昨年発行までは100万本に1本当選だったのが、今年は10万本に1本になるそう。確率が10倍に増えるとは、宝くじもびっくり！ 今までの賞品は家電が多く、昨年の1等賞品は選べる国内・海外旅行、パソコン・デジカメ・プリンタセット、液晶テレビ、快適家電セット、一眼レフカメラの5種類から選んでもらう形式だったとか。お年玉付き年賀はがきが賞品を現金にするのは発売以来はじめて。三種の神器の時代と違って、欲しいものは自分で手に入れられる時代。現金なら食事やお年玉など、いろんな使い方ができる。

——そもそもお年玉付き年賀はがきの発祥はいつですか？

「お年玉付き年賀はがきは昭和24年に初めて発行されました。また、世界的にも珍しいくじ付のはがきとなったのは、戦後の混乱期に家族や知人の消息を尋ねる手段としても使われていた年賀はがきに、くじを付けることで少しでも明るい話題を提供したいという意図からはじまったそうです」

ちなみにお世話になっている方への年始のご挨拶は、平安時代から日本で続く習慣だそうです。日本人としてはやっぱり年賀状は出しておきたいですね！

～ 編集後記 ～



日本郵政のサイトで無料の年賀状裏書ソフト「はがきデザインキット」を見つけました。はがきにはかかせない住所録管理や宛名印刷、裏面印刷もOK！ 年賀素材も1,000種類以上使えます。PC版以外にスマートフォン版もあります。年賀状ソフトとしての最低限の機能はあります。お金を掛けたくない方に最適です！

[http://yubin-nenga.jp/design\\_kit/](http://yubin-nenga.jp/design_kit/)

記 奥村